座標

柔軟な発想に四則計算

アイデア量産方法

ステップアップコミュニケーションズ社長　柴田　聖一（山形市）

20代の頃の私は、戦うプランナーだった。主にブランディングやマーケティングを企画プロデュースするのだが、顧客の多くが大先輩にもかかわらず、「この企画はどうだ」と言わんばかりに提案していた。30代になると、実績も増え、柔軟性が増したためか「企画の仕方を教えてもらえないか？」という相談が増え始めた。

「さて、企画を人にどう伝えようか」。そんな課題が浮上してきた。私の企画法は独学で現場で育まれたものだ。当然、教科書はない。そこで自分の企画のルーツ探しを始めた。すると幾つか源泉が見えてきた。

その大本と呼べるものが四則計算だ。四則計算とは足し算、引き算、掛け算、割り算のことだ。記号では「＋」「－」「×」「÷」と表記する。私はバランスの取れた美しいデザインの記号に深遠なメッセージを感じた。そして人が抱える問題は、この四つの記号をひな型にすることで、解決に導くことができるのではないかと直感した。向き合えば向き合うほど、人類の英知である四則計算の世界の奥深さに魅了された。

その感動を機に、私は四則計算を、誰でも企画プロデュースの現場で活用できるように、試行錯誤を繰り返した。その結果、独自の「CMG®ひらめきメソッド」を開発することに成功した。

まずは前提として記号の基本解釈を定義した。「－」は自分、自己表現を考えること。「＋」は交流、他者を考えること。「×」は融合、新たなものを生み出すこと。「÷」は分配、成果を分かち合うこととした。

そして縦横に3升ずつ計9升からなるまんだら状のボード、多様な単語の「ひんとカード」を活用することで、柔軟に企画が生みだせることに気付いた。

まんだら状のボードは、経営がテーマの場合、中心に社名を置き、残りの8升に市場、商品、理念、構想、共有、仕事など経営を構成する要素を配置する。

これらは四則計算の「＋」「－」「×」「÷」に、「！」（感動）「∞」（循環）などを加えた九つの記号の基本解釈を経営用語に置き換えたものだ。例えば、商品は自己表現を考える「－」、市場は他者を考える「＋」となっている。

続いて、ひんとカードを無作為に引き、関連するボードの升に置く。例えば「コメ」なら商品の升、「富裕層」なら市場の升、「口コミ」なら売り方の升に置いてビジネスストーリーを考えていく。

これは基本的なやり方で、ビジネスに限らずライフワークや地域づくりなどにも応用が可能だ。これによって誰もが楽しみながら、柔らかな発想でアイデアを量産できる。事業計画づくり、営業や商品開発の会議、新入社員やリーダーの研修、コンサルティングにも有効だ。

四則計算は起源が異なり、誰が考えたか分からない。しかし、太古の昔から地球人は、その恩恵を受けているのではないか。これから進展していく人工知能やロボット工学、宇宙時代に向けても、その礎となっていくはずだ。

特集　震災10年　未来を紡ぐ

亡き父の炉　停電中に重宝

高橋としみ　65歳（石巻市・主婦）

東日本大震災の発生時、沿岸部の石巻市渡波地区にある銀行の駐車場にいました。横揺れがものすごくて、停車中の車が隣の車とぶつかるのではないかと、心配したほどです。揺れが収まった直後、寝たきりの母が心配になったので、市内の真野地区の自宅に向かいました。

山村と言ってもいい真野地区へ行くには、坂道を通らなければなりません。この坂道では既に渋滞が始まっていたのです。

上り車線にも下り車線にも車を止めている人がいて、混雑に拍車を掛けています。坂道を抜けるのにひと苦労しました。

この頃、渡波地区には大津波が押し寄せていて、大変なことになっていたのを知ったのは、後のことでした。

自宅は停電で夜に備えて、家じゅうのろうそくや懐中電灯を茶の間に集めました。茶の間の畳の下には、昔使った炉が残っていました。自宅を改築した三十数年前、亡き父が迷った末に「いつか使う時が来るかもしれない」と残していた炉です。

物置にあった火をおこし、暖です。当日は雪で、家族で炉を過ごしました。

高速バ

菅井　賢幸（名取

2011年3娘の幼稚園の入め、東京都八王長男の家を訪れ泊して帰宅すた。

翌11日の午後ション3階でくたところ、急にした。強くて長孫は怖がって座りました。私は の再来かと思い

2011記憶のアルバム　河北新報アーカイブから

自衛隊員らが相馬港付近を捜索　相馬市、3月12日

声

■マス

佐野　のぶ（仙台市青葉

新型コロナウ染が拡大し、マ品となり始めた前のこの時期か新型コロナに対恐怖が、瞬く間がった。

やっとワクチまったが、マスない状態はしばろう。早く、マ過ごせる日が来

説

株価3万円突破

経済の実力　過信は禁物だ

株と無縁な人は今や少ない。直接、あるいは投資信託を通じて売買していなくても、私たちの公的年金の積立金を運用する独立行政法人は株を組み入れており、間接的に関わりがある。

こう考えると株高は悪いことではない。ただ新型コロナウイルスの流行が続く日本経済の実態を反映しているとは言えず、手放しで喜ぶことはできない。

生産（GDP）の速報値は実質で前期比3・0％増と2四半期連続でプラスとなったが、新型コロナ感染拡大前の水準には達していない。

20年通年の実質GDPは前年比4・8％減で、リーマン・ショック後の09年の5・7倍に上る。

は、厚生労働省の今月12日現在のまとめで約8万7000人に上る。

3月期も厳しい数字が出ることが予想される。

自動車や家電、IT関連など一部が好調な半面、運輸や宿泊、飲食などコロナ禍で苦境にある業種もあり、二極化が進んでいる。コロナ関連で解雇や雇い止めになった人

感が湧かない」と感じている人は多いのではないか。

株高の背景にあるのは世界的な金余りだ。コロナ禍の経済を支えようと、各国の中央銀行が大規模な金融緩和を実施している。市中に余剰資金があふれ、超低金利の中、有利な運用先を求めて株式市場に向かっている。

加えて、東京市場では日銀

ムの安定につながったされる一方で、「官製相となり市場の機能にゆもたらしたとの批判も

現在の株価水準はバの見方さえあり、日本経実力と見ることはできこのままでは1990バブル崩壊のように手っぺ返しを食らう可定できない。

政府、日銀は行き過融緩和を縮小し、経済ンダメンタルズ（基礎的に見合った成長軌道に